

# 日本文化における色彩

私たちの身のまわりには、さまざまな色彩があふれています。日本列島に暮らしてきた人々も、自然現象や動植物に由来する多様な色彩に囲まれるなかで、色彩をめぐるさまざまなイメージを育み、独特の文化を形成してきました。この講座では、日本文化のなかで色彩がどのように扱われてきたかを、文学作品や陶芸作品のなかを探ります。

■日時：2019年6月21日・28日・7月5日（全3回）

金曜日 13:45～15:30

■会場：広島県立文書館会議・研修室（広島市中区千田町3丁目7-47 広島県情報プラザ2階）

■内容：

日程	時間	テーマ	講師
6月21日 (金)	13:45～ 14:00	図書館ガイダンス①：利用案内・インターネット予約貸出サービス等	
	14:00～ 15:30	古典文学の色彩表現	県立広島大学人間文化学部准教授 高松 亮太
6月28日 (金)	13:45～ 14:00	文書館ガイダンス：利用案内・展示案内等	
	14:00～ 15:30	王朝文学と色彩	県立広島大学人間文化学部教授 西本 寮子
7月5日 (金)	13:45～ 14:00	図書館ガイダンス②：書庫案内	
	14:00～ 15:30	色絵磁器の成立 —備後姫谷焼を中心に—	県立広島大学人間文化学部教授 鈴木 康之

■受講料：無料

■募集人数：60名

■対象：どなたでも（原則として全回、出席できる方）

■申込方法：往復はがきで、往信面の裏に、①郵便番号、②住所、③名前、④ふりがな、⑤電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、名前（「〇〇様」）をご記入の上、2019年6月7日（金）（消印有効）までに下の申込先にお送りください。申込多数の場合は抽選となります。受講の可否は申込締切日以降に返信はがきでお知らせします。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

■申込・問合せ先：

〒734-8558 広島市南区宇品東1-1-71

県立広島大学地域連携センター「日本文化における色彩」講座係

電話（082）251-9534（平日9:00～17:00）

■主催：県立広島大学地域連携センター、広島県立図書館、広島県立文書館



# 講座内容



## 第1回 古典文学の色彩表現

県立広島大学人間文化学部准教授 高松 亮太

色彩感覚とは、古今東西にわたって人々の美意識の核として存在しながらも、時間の推移に従って少しずつ形を変えていくものでもあります。文学作品は、こうした色彩感覚の内実や変化を知ることの出来る恰好の素材とあってよいでしょう。本講座では、日本の古典文学作品、とくに和歌・俳諧・漢詩といったジャンルを題材にしながら、日本人の色彩感覚の表現に迫ってみたいと思います。

## 第2回 王朝人と色彩

県立広島大学人間文化学部教授 西本 寮子

王朝の人々はどのような色彩に囲まれていたのでしょうか。襲の色目をはじめとする伝統色の名称が多彩なことからもわかるように、現代の私たちが予想しているよりはるかに豊かな色を識別していたと思われます。文学作品や記録、絵巻などから王朝びとの身近にあった色彩について考えてみます。

## 第3回 色絵磁器の成立—備後姫谷焼を中心に—

県立広島大学人間文化学部教授 鈴木 康之

焼き物をさまざまな色彩で彩りたいという願望は、日本列島においては江戸時代初期に成立した色絵磁器によって実現しました。その成立の過程を、現在の福山市加茂町で生産された姫谷焼を中心にたどります。

この講座は県立広島大学・広島県立図書館・広島県立文書館による連携事業です。この機会に、広島県立図書館と広島県立文書館にいらっしやいませんか。講座では両館の利用方法をご説明するほか、ふだんは入れない広島県立図書館の書庫もご案内します。